

大館のむがしっこ

文・河田竹治さん

<7>

犬の親子、村を救う

昔、長走村には守護神がなかった。

そこで村人たちは、ちょうど巡歴して村に来た弘法大師に守護神をお願いした。

それから半年ばかりたって、村に真っ白い一匹の犬がやって来て村下の多茂木のほら穴に住みついた。犬は、昼夜を問わず村中を走り回っては盗賊や獣から村を守ってくれた。

「あの犬は、弘法大師様が村の守り神としてお使っしになったのだ。」村人たちは犬神様と呼んでいていかに敬った。

ある日、犬神様がふつと見えなくなった。が、一年ほどでまた村に帰って来た。そして多茂木のほら穴でかわいい子を産んだ。

ある夏のこと、日照りが何日も続き、川には水がなくなり、田んぼは地割れして農作物や山の木が枯れ始めた。

村人たちはたいへん困って犬神様をお願いした。すると犬神様の住んでいる穴の中から声が聞こえてきた。「私たちが親子を祭ってから、近くの滝つぼに投げ入れてください。そうすれば雨が降り田や畑を潤すでしょう」。

でも村人たちは、これまで村を守ってくれた犬神様を生きたまま滝つぼに投げ入れることはできなかった。ところが、近くの山に住むよくばりな山師たちは「おれたちの木が枯れては困る」とばかりに犬神様を祭りもしないで滝つぼに投げ入れてしまった。

すると今までカンカン照りであった空に真っ黒い雲が現われ、大粒の雨が降り始めた。雨はだんだん激しくなり、大洪水となった。しかし、不思議なことには、長走の村には被害はまったくなく、作物が生きてきた。そしてその秋は、最高の豊作になった。

一方、山師たちの木は、一本残らず流されてしまい川底に沈んでしまった。

あわれみ深い村人たちは、たいへん嘆き悲しみ、せめて犬神様の亡きからでも探さして手厚く葬ろうということにした。村人たちは総がかりで滝つぼを探したが見つからなかった。そのかわり滝つぼの底に犬の親子が抱きあっているような形をした石をみつけた。

「これこそ犬神様が化身したものだ」と村人たちはこれを拾いあげ祭った。これが多茂木のほら穴に納め祭られてあつたところから「多茂木神社」と名付けられ、村人は犬神様として信仰して今に至っている。

それ以来、長走は日照り負けしたことがないと言われている。



絵・田村純一さん(芦田子)

10月15日〜11月14日

麻薬・覚せい剤禍撲滅運動



＝秋の施設めぐり＝

10月27日(木) 午前9時出発 (8時半集合)

今年度2回目の「施設めぐり」を行います。市の施設や文化財などをあなたの目で確かめませんか。

募集人員・Aコース……100名

- 文化会館、長根山運動公園、山館浄水場、軽井沢福祉園、市民の森、工業団地、広域交流センター、中央図書館、広域環境センター、卸売市場

・Bコース……100名

- 文化会館、長根山運動公園、少年自然の家、曲田聖堂、市民の森、安藤昌益の墓、山館浄水場、広域交流センター、中央図書館、鳥潟会館

申込み・10月25日午前8時30分からAコース、Bコース別に受け付けします。市民生活課へ電話か直接申し込んでください。なお定員になりしだい締切り

ます。

☎49-3111 内線214

その他・当日は昼食、雨具などを持参してください。なお下駄や木製のサンダルの方は、スリッパを持参願います。



▲今年春の施設めぐり—長根山陸上競技場

市役所の執務時間が変わります

市役所の執務時間が十一月一日から下記のように変わります。期間は来年三月末日まで。よろしくご協力をお願いいたします。

〔平日〕

午前9時〜午後5時

〔土曜〕

午前9時〜午後0時30分

昼休みは0時15分から1時までです